

鶴見大学仏教文化研究所紀要第6号・雑纂

雑誌名	鶴見大学仏教文化研究所紀要
号	6
ページ	97-106
発行年	2001-04
URL	http://id.nii.ac.jp/1646/00000520/



平成十二年度 仏教文化研究所活動報告

〔運営委員会〕

平成十二年四月五日（水）午後四時〇〇分～

六号館二階 仏教文化研究所共同研究室

〔研究会〕（見学研究会）

日時 平成十二年五月十三日（土）午後一時〇〇分～

場所 建長寺史跡発掘現場

参加者 高崎直道所長、納富常天所員、大三輪龍彦所員、永田勝久所員、河野真知郎所員、石田千尋所員

〔公開講演会〕

平成十二年六月三日（土）午後二時〇〇分～

鶴見大学会館二階ホール

講師 前田惠學先生（愛知学院大学客員教授・文化功労者）

演題 「最近スリランカの大学と幼稚園で話したこと」

講演内容は本紀要に記載

〔研究会・運営委員会〕

日時 平成十二年七月二十七日(木) 午後四時三〇分

場所 六号館二階 仏教文化研究所共同研究室

研究題 「観智院本類聚名義抄の奇数書写者について」

担当 小林恭治所員

参加者 高崎直道所長、納富常天所員、関根透主任、中田直道所員、矢島道彦所員

内容 観智院本類聚名義抄は中世の写本であるとはいうものの、その明確な書写年代および書写者については検討がなされていない。本発表は、全十一帖の奇数帖と偶数帖の筆者が異なるという説にもとづいて、奇数帖の書写者の推定を行うことで、おおよその成立年代までも限定することを試みた。

運営委員会

○平成十二年度 予算承認

○所員の役割分担承認

○研究員の委嘱の更新承認

佐々昌樹氏、佐藤達全氏

○公開講演会実施要領案承認

学生等聴衆者への参加呼びかけ

○パネル展の開催 六月二日～六月九日 大学会館センタープラザ

○紀要第6号公開講演会ほか投稿希望者は編集担当所員へ連絡

○研究会の開催

○共同研究室の資料の移転

六号館一階の資料室に夏季休暇中に集密書架設置

集密書架設置後は資料室に移動

○本館B棟解体に伴うセミナー室等不足となるため当分の間資料移動後の共同研究室をセミナー、会議等で使用する。

〔運営委員会〕

日時 平成十二年九月二十八日（木）午後四時三〇分

場所 六号館二階 仏教文化研究所共同研究室

出席者 高崎直道所長、納富常天所員、関根透主任、大三輪龍彦所員、永田勝久所員、尾崎正善所員、

小林恭治所員

○集密書庫の見学

資料の利用方法

外部貸出については備付けのノートに本人が記録する。

○仏教文化研究所共同研究室の利用について

当分の間ゼミ、会議などにも自由に使用することとする。

ただし、使用する場合は六号館事務室に届け出るものとする。

○紀要第6号について

原稿締切り 平成十二年十二月末

執筆予定 前田惠學先生（公開講演会）、納富所員、関根主任、尾崎所員、小林所員

○平成十三年度公開講演会の開催 平成十三年六月九日（土）

・講師については検討・交渉

○研究員の委嘱について 現在の研究員の継続

○その他 ・科学研究費の申請準備

・仏研専任教授の任用について検討 将来大学院の設置

・次回研究会の開催予定

〔運営委員会〕

日時 平成十三年一月二十五日（木）午後四時三〇分～

場所 六号館二階 仏教文化研究所共同研究室

議題 平成十三年度 研究所所員・研究員・顧問について

仏教文化研究所紀要第6号について

その他

研究所概要

〔所在地〕〒二三〇一八五〇一 横浜市鶴見区鶴見二丁目三 鶴見大学内

TEL 〇四五五八一一〇〇一

FAX 〇四五五七四一〇二二五

(担当事務部：文学部事務部庶務課)

〔所長〕高崎直道 鶴見大学学長 (印度哲学)

〔主任〕関根透 函学部教授 (倫理学)

〔所員〕大三輪龍彦 文学部教授 (日本史)

永田勝久 文学部教授 (化学)

河野真知郎 文学部教授 (文化人類学・考古学)

石田千尋 文学部教授 (美術史)

小林恭治 文学部助教授 (日本語)

尾崎正善 文学部講師 (宗教学)

木村清孝 短期大学部教授 (日本仏教史)

矢島道彦 短期大学部教授 (宗教学)

〔研究員〕佐々昌樹

佐藤達全

〔顧問〕納富常天 (大本山総持寺宝物殿館長)

鶴見大学仏教文化研究所規程

(設置)

第一条 鶴見大学に、鶴見大学仏教文化研究所（以下「研究所」という。）を置く。

(目的)

第二条 研究所は、鶴見大学の建学の精神に則り、日本における仏教文化を中心に、広く仏教と文化に関する研究を推進し、学術の発展に寄与することを目的とする。

(研究内容等)

第三条 研究所は、前条の目的を達成するために次のことを行なう。

- 一 宗教学等の教授内容としての諸宗教の比較、仏教教理、曹洞宗学（特に總持寺教学）及び日本文化に及ぼした仏教の研究などの基本的研究
- 二 鶴見大学及び鶴見大学短期大学部における建学の精神の具現化及びその方法等の研究
- 三 鶴見大学大学院文学研究科との共同研究及び他の研究機関との学際的研究
- 四 研究会、講演会及び公開講座等の開催
- 五 所員の調査及び研究の成果並びに共同研究の成果、講演等の発表のための紀要類の刊行
- 六 その他研究所の目的を達成するために必要と認める研究等

(研究部門)

第四条 研究所に、次の2研究部門を置く。

一 仏教学研究部門

二 仏教教育研究部門

(所長)

第五条 研究所の所長は、鶴見大学学長の併任とする。

(所員)

第六条 研究所の教員は、専任のほか、鶴見大学及び鶴見大学短期大学の専任教員の中から所長が委嘱する。

二 研究所の職員(教員を除く。以下この項において同じ。)は、専任のほか、鶴見大学の専任の職員の中から所長が委嘱する。

(研究員)

第七条 研究員は、鶴見大学及び鶴見大学短期大学の専任教員以外の者から、所長が委嘱する。

二 研究員の任期は一年とし、更新することができる。

(顧問)

第八条 研究所に、必要な助言を与え事業の円滑な運営を図るため、若干人の顧問を置く。

(運営委員会)

第九条 研究所に、第三条に定める研究内容等の企画、運営のため、運営委員会を置く。

二 運営委員会は、所長及び所長が委嘱する運営委員をもって構成する。

三 運営委員の任期は二年とし、更新することができる。

(経費)

第一〇条 研究所の経費は、鶴見大学の年間研究費予算その他をもってこれに充てる。

(規程の改廃)

第十一条 この規程の改廃は、運営委員会の議を経て、行なうものとする。

附 則

この規程は、平成七年四月一日から施行する。

平成十一年四月一日一部改正

仏教文化研究所平成十一年度購入資料一覽

- | | | | |
|-----|----------------|--------------------|-----|
| 一、 | 岩波日本史辞典 | 岩波書店 | 一冊 |
| 二、 | 江戸幕府寺院本末帳集成 | 雄山閣出版 | 全三冊 |
| 三、 | 国書人名辞典 | 岩波書店 | 全五冊 |
| 四、 | 性靈集一字索引 | 東方出版 | 一冊 |
| 五、 | 青蓮院門跡吉水藏聖教目錄 | 汲古書院 | 一冊 |
| 六、 | 神道論文總目錄 | 國學院大學日本文化研究所編、第一書房 | 一冊 |
| 七、 | 神仏信仰事典シリーズ二、三 | 戎光祥出版 | 二冊 |
| 八、 | 鈴木大拙全集 増補新版 | 岩波書店 | 一冊 |
| 九、 | 石窟寺院の研究 | 斎藤忠著、第一書房 | 一冊 |
| 十、 | 禅学典籍叢刊1・2・7・8 | 臨川書店 | 四冊 |
| 十一、 | 禅宗小事典 | 法藏館 | 一冊 |
| 十二、 | 対外関係史総合年表 | | 一冊 |
| 十三、 | 中国天台山諸寺院の研究 | 斎藤忠著、第一書房 | 一冊 |
| 十四、 | 道元禅師全集10・11 | | 二冊 |
| 十五、 | 奈良六大寺大観 補訂版2・7 | 岩波書店 | 二冊 |

- | | | |
|--|--------------------|-----------|
| 十六、日本仏教史辞典 | 吉川弘文館 | 一冊 |
| 十七、日本民俗大辞典 上 | 吉川弘文館 | 一冊 |
| 十八、福井康順著作集 | 法蔵館 | 全六冊 |
| 十九、仏教福祉研究 | 水谷幸正先生古稀記念会編、思文閣出版 | 一冊 |
| 二十、仏教教化研究 | 水谷幸正先生古稀記念会編、思文閣出版 | 一冊 |
| 二十一、仏書研究 [△] 復刻版 [▽] | 名著普及会 | 全一冊 |
| 二十二、柳田聖山集 | 法蔵館 | 一冊 |
| 二十三、BDK English Tripitaka (英訳大蔵経) | 74・75 | 二冊 |
| 二十四、古文書時代鑑 | 東京大学出版会 | 全三冊 |
| 二十五、続天台宗全書 | 春秋社 | 十五冊 |
| 二十六、中村元選集 | 春秋社 | 全32卷・別巻8冊 |